

東芝テックOB会だより

第25号

2012年12月25日

第18回東芝テックOB会総会開催！



去る11月7日（水）、第18回東芝テックOB会総会は、東京駅丸の内側の日本工業倶楽部で開催されました。当日は前日の雨も上り秋晴れの中、遠く兵庫、茨城、群馬、愛知在住の会員も参加され、会社側からは来賓として鈴木社長及び各役員が参加されました。

総会は、寺尾幹事の司会で始まり、杉之内会長の開催挨拶、来賓鈴木社長のご祝詞の後、議事として会計及び監査報告並びにOB会会則第7条（会費）の改定案が提案され原案通り拍手で承認され



ました。

引き続き米寿、喜寿を迎えられた46名の方々に対し盛大な拍手のなか記念品贈呈が行われました。

懇親会は88歳になられました堀田元常務のご挨拶と乾杯の音頭で始まり、久し振りの再会に和やかな交流の輪が広がりました。

最後に鈴木副会長による中締めと来年三島での再会を約束して無事終了しました。



会長挨拶 要旨

会長 杉之内 義正



皆様、ご無沙汰しております。今年は、総会の日程が決まらず、案内状の発送が遅れ、会員の皆様には大変なご迷惑をおかけして誠に申し訳なく深くお詫び申し上げます。しかしながらこの様な状況にもかかわらず本日は多数の会員にご出席いただき感謝申し上げます。

又、会社よりご多忙の中、鈴木社長を始め、役員各位のご参加を賜り厚くお礼申し上げます。鈴木社長には恒例により最近の会社動向を含めご祝詞を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

まず、本日は、ご出席のみなさまにご了解を賜りたい事項が2件ございます。1件目は会則の改定です。その理由は、従来から会費の払込手続を忘れる会員が多くその対応にOB会事務局が苦慮しております。今年は、9月現在で274名の方が会費未納となっております。ただ、この内約70%の方は会費未納を思い出して払込手続をさせていただいており安心しております。ただ残り30%の方は毎年払込依頼を出しておりますが、具体的な送金手続の行動に至らず3年、4年と未納期間が延期されております。

OB会と致しましては、未納の理由はともかく会の運営上そのまま放置することも出来ませんので一定の手続を会則に基づき実施したいと思ひ会則第7条（会費）に但し書きを追加することを提案致します。何卒ご理解の上ご承認賜りますようお願い致します。

2件目は、OB会の会報であるOB会だよりの件です。私共は当初年間3回発行することを目標に実行してきましたが、予算不足でやむを得ず今年度から年間2回に変更することになりました。今後は、予算を考えながら随時便が発行できるよう努力しますが、会員各位の皆様に従来に益して積極的な寄稿をお願い致します。

次に、皆様に資料として配付しました“総会しおり”の通り今年度は残念ながら17名の会員が

亡くなれました。誠に寂しい限りです。あらためて、皆様と共に慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

次に、お祝いの件ですが、今年は46名の方が米寿、喜寿を迎えられました。本当におめでとうございます。後程、ささやかではございますが会よりお祝いを差し上げたいと存じます。どうぞこれからも健康に留意され毎年の総会にはお元気な姿でご出席下さることを期待しております。

さて、皆様とは、今年も厳しい暑さを乗り越え、久しぶりにお元気な姿で再会することが出来ましたが、これからは会社の現状を考えますと新しい会員の加入は減少して来るものと予想されます。従って、皆様には1日でも健康で元気に長生きしていただかないとOB会を維持することが困難になる時期が近い将来来るのではないかと心配しています。ともかく1年に1回又は2年に1回再会し、同じ会社の卒業生としての伴を確認する良い機会です。時間の許す限りご歓談の上、来年も元気で再会出来ることを心から願っています。

最後になりますが、会員各位の益々のご健勝と会社の繁栄を祈念すると共にOB会に対し会社並びにOB各位の暖かなご支援を引続き賜りますようこの機会に特にお願いし簡単ですが開催の挨拶と致します。ありがとうございました。

総会時、受付の準備不足による不手際等不愉快な思いされた会員に対し誠に申し分けなくお詫び致します。

来賓祝詞 要旨

取締役社長 鈴木 護



本日は、「第18回OB会総会」にお招きいただきまして誠にありがとうございます。

皆さんの元気なお姿に接することができ、大変嬉しく思う次第です。

また、めでたく米寿、喜寿を迎えられました先輩の方々に対しましては、心からお祝いを申し上げます。

今後とも一層健康に留意され、お元気で御過ごしになられますようご祈念申し上げます。

【業績関係】

さて、11月1日に第2四半期の決算内容を外部へ公表しました。2012年度上期の当社業績につきましては、売上高は、既存事業では円高影響等により海外事業が減収したものの、国内事業が好調に推移したことにより前年同期並みでしたが、IBMから買収したリテール・ストア・ソリューション事業（東芝グローバルコマースソリューション事業）の連結化等により対前年同期比5%増の1,840億円となりました。

営業利益は、増収に加え、経費削減及び東芝グローバルコマースソリューション事業の連結化等により対前年同期比89%増の96億円となりました。

純利益は前年同期比221%増（約3倍）の38億円となりました。

国内事業は、増収増益で好調に推移し、海外事業は欧州の財政危機や尖閣諸島問題、為替の影響等で苦戦しましたが、厳しい事業環境下でありながら、全社として増収増益を図ることができました。

この業績結果により、配当につきましては、対前年同期1円増の1株当たり4円の間配当とすることを決定いたしました。

【トピックス】

さて、既にご承知かと思いますが、当社は、本年8月1日付にて米国IBM社のリテール・ストア・ソリューション事業を買収し、現在、事業移管の手続きを継続しております。

IBM社の世界におけるPOSシェアは18%、当社シェアは8パーセントであり、今回、IBM社のリテール・ストア・ソリューション事業を取得したことにより、当社は、グローバルNo.1シェアを獲得することとなりました。IBM社のリテール・ストア・ソリューション事業は、全世界No.1の販売サービス網を持っており、当社の国内No.1の販売サービス網と組み合わせることで、グローバル・ワンストップでお客様に提案・サポートのできる体制となります。

また、IBM社にはCRM・SCMなど優れたバックエンド・ソリューションがあり、一方、当社は店頭レジまわりなどの優れたフロントエンドソリューションや東芝グループも含めた幅広い商品群があります。また、IBM社は小売業界のグローバル・トップ企業をお客様として持っており、当社はローカルベースのお客様に強みがあります。このように、IBM社と当社の事業はすば

らしい補完関係にあり、リテール・ソリューション業界でいろいろな面で他社を圧倒できる基盤を持つことができました。今後は、米州、欧州、日本、アジアなど全世界で成長著しいリテール・ソリューション市場において、高水準の商品・ソリューションをグローバルに展開し、顧客に新しい価値を提供するリテールPOSシステムのリーディング・カンパニーとして、更なる事業拡大に努めてまいります。

昨年のOB会総会以降の主なトピックスとしては、只今、申し上げたIBM社のリテール・ストア・ソリューション事業の買収に加え、グループ会社を含めた東京地区の事務所再編が挙げられます。当社の本社事務所が9月にゲートシティ大崎へ移転するとともに、東芝テックソリューションサービス及びテックインフォメーションシステムズの東京地区の拠点が、大崎に集結いたします。

続いて事業本部関係のトピックスとしては、国内POS販売台数は、10年連続シェアNo.1獲得、東静電気とTACが統合し、新TOSEIスタート、中国A3機MFP販売台数は、12年連続シェアNo.1獲得、当社が現在開発中のEcoMFP『用紙を再利用する複合機システム』が技術開発・製品化部門において環境大臣賞を受賞、IBM社のリテール・ストア・ソリューション事業の買収による東芝グローバルコマースソリューション社の発足。全世界で42ヶ国に設立いたしますが、現在までに15ヶ国が始動しております。IJ事業は、小規模ではありますが、安定した利益が出るようになり、無鉛インクジェット・プリンtheadの開発にも成功いたしました。生産関係では、尖閣諸島問題により一時ストも発生しましたが、大きな混乱はなく、安定した生産を継続しております。

【今期を迎えて】

既に下期がスタートし、1ヶ月が経過しましたが、2012年度通期においては、売上高は、前年同期比17%増の4,100億円、営業利益は、前年同期比57%増の170億円、当期純利益は、前年同期比134%増の60億円を計画しており、年間配当につきましては、対前年同期1円増の1株当たり8円を目標としております。

現在、各部門全力をあげて目標達成のための施策や計画に取り組んでいるところでございますが、世界経済は、欧州もギリシャに続き南欧諸国への懸念から景気は回復してこないと見込まれてお

り、中国、アジアも総じて景気拡大テンポが鈍化するものと予想されております。

また、国内におきましても景気は停滞しており、当社を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況が続いております。

毎回のお願いで大変恐縮ではありますが、どうぞ当社製品のご愛顧、またはお知り合いへのご紹介などを通じて、私どもへのお力添えを従来に増していただければと思う次第でございます。

【終わりに】

本日は、年に1回のOB会総会となりますが、私以下役員が出席しておりますので、皆様とご歓談させていただき、近況を共有させていただければと思います。

最後になりましたが、本会の発展と皆様方の益々のご健勝を祈念いたしまして、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

《 総 会 資 料 》

平成24年10月31日現在の東芝テックOB会会員数は次のとおりです。

会員の状況	新会員	34名
	ご逝去者及び退会者	28名(逝去者17名、退会者11名)
	総会員数	1,121名(内 終身会員数50名)

お祝い 平成24年度米寿、喜寿をお迎えになられた方々は下記のとおりです。ますますご健勝でありますようお願い申し上げます。

☆ 米寿のお祝い (7名) 大正14年生

大川静夫 様、片岡孝 様、杉山数弥 様、橋本伝治 様、山本光雄 様、湯川実 様、吉田幸丸 様

☆ 喜寿のお祝い (39名) 昭和 11年生

青木秀夫 様、青沼俊雄 様、石橋昂康 様、臼井肇 様、遠藤武司 様、大橋春洋 様、大屋恵司 様、岡崎孔一 様、小川夏生 様、金高敏夫 様、亀山和實 様、菅野政夫 様、北野まさえ 様、木藤充義 様、鬼頭忠明 様、久保光生 様、古地昌司 様、小林敏男 様、島津光男 様、下里俊正 様、杉原良春 様、杉山務 様、鈴木寛 様、摺淵善平 様、田中貞司 様、谷山幸男 様、綱嶋靖夫 様、長倉朗 様、中島邦雄 様、西田良三 様、野田伸樹 様、日吉富夫 様、福元森義 様、溝上清三 様、矢込修二 様、山下義彦 様、横山敬五 様、吉田正明 様、渡辺一男 様

計 報 心からご冥福をお祈り申し上げます(17名)

杉山好春 様(H23.10)、菅原昭一 様(H23.10)、原直 様(H23.11)、山田三男 様(H23.11)、岡田秀夫 様(H23.12)、藤田泰山 様(H24.2)、結城保 様(H24.2)、長實 様(H24.3)、増田龍彦 様(H24.3)、白川栄一 様(H24.4)、三ヶ尻勲 様(H24.4)、畑耕次 様(H24.5)、上村文平 様(H24.5)、大塚健司 様(H24.6)、井出孝人 様(H24.6)、馬場英輔 様(H24.7)、田中和水 様(H24.10)

平成23年度会計報告

収入の部		支出の部	
前期繰越金	2,754,845		
会費(年会費)	1,984,000	幹事会運営費	225,380
雑収入(預金利息)	175	OB会だより	729,905
見舞金(三島支部)	10,000	お祝い金	540,000
立替金戻入)		香典及び生花代	210,250
		支部運営費	481,000
		行事活動補助	6,000
		HP運営費	105,000
		雑費(振込手数料等)	80,820
		(郵便局)	75,240
		(銀行)	4,620
		(TTB(手数料・送料))	960
収入計	1,994,175	支出計	2,378,355
		次期繰越金	2,370,665

OB会会則一部改正

(下線は改正点を示します。)

現 行	改 正 案
第7条(会費) 会費は年会費として2,000円を徴収する。その他 懇親会開催の時、実費程度の費用を徴収する。	第7条(会費) 会費は年会費として2,000円を徴収する。その他 懇親会開催の時、実費程度の費用を徴収する。 <u>但し、特段の理由がなく会費を4年以上未納の場合、退会扱いとする。</u>

※ご承認いただければ、東芝テックOB会会則は、本日付(平成24年11月7日)にて一部改定とする。



会員の広場

近況報告 ～鎌田 芳郎さん～

一昨年の春、OB会ファミリーウォークで桜の浅草寺、隅田川リバーサイドウォークを32名参加して実施したのですが、吾妻橋の上から巨大なヒトダマのあるアサヒスカイビルの横に建設半ばの東京スカイツリーを初めて発見、その後、水戸徳川家の隅田公園の築山で建設中のスカイツリー

をバックに記念写真を撮りました。まだ半分の高さでしたが、超巨大さにびっくり、完成したら、必ずスカイツリータウンのウォーキングをしよう！と誓って、今年の秋10月1日に開催する運びとなりました。



てまりと私 ～稲葉 和男さん～

私は若い時から、手芸事の「文化刺しゅう」を二十年以上続けていました。余った糸を何か活用しようと考えていました。旅行で信州の松本方面に行った時土産物店で買った松本「てまり」でした。てまりに魅せられ、ある日書店を覗いた時に、日本てまりの会の尾崎千代子先生のてまり作りの本に出会い、独学で取り組んで来ました。在職中も余暇には、てまり作りを続けて、三十余年になります。平成十五年に大仁町の文化協会に、「大仁てまりの会・和」を立ち上げ、八名の会員で加入し、月一回朝九時から午後四時まで、てまり教室では世間話など和気藹藹楽しくてまり作りを行っております。大仁てまりの会も来年で十年目を迎えます。平成十八年大仁町、伊豆長岡町、韮山町が合併し、伊豆の国市になり、韮山地区から二教室が加わり現在三教室を開いております。市、文化協会主催の市民文化祭には会員の作品を出展

参加し、文化協会の広域事業の伊豆の国市、伊豆市、函南町の手工芸展や、地元、田京区の文化祭にも出展して、市民の皆さんに楽しんで戴いております。又、三島市の社会福祉協議会の依頼で、三島南小学校の空教室を利用し、六十五以上の高齢者を対象にてまり教室を開き、指導に月三回、半年間の教室を実施してまいりました。知人がビデオ撮りしたてまり教室の様態や作品をNHK静岡放送局の正午前の情報ランチの番組の中で放映して頂きました。又、伊豆日日新聞の趣味のコーナー「至福のとき」を掲載して頂き、都度会員が増えました。色とりどりのフランス刺しゅう糸を使い、球形に一針一針かがり、四季の花や幾何学模様、日本古来の伝統美を表現するよう心懸けています。現在でも地方によっては、お正月やひなまつりなどに飾られていますし、都会でも最近は、また、てまりが復活して、室内装飾用やプレゼン

トに大変人気を集めてきました。てまり作りは手先を使い、「頭の体操」になります。私は今後も、



会員の皆さんとてまり作りを進めて行きます。



落ち着いた定年生活を目指して ～塩出 剛志さん～

2008年10月末、当時の画像情報通信カンパニー環境推進室から定年退職しました。

新たに生まれた時間で趣味の音楽を存分に楽しもうと、以前から参加している東芝のジャズビッグバンドに加え、定年と前後して社内と地元の2つの吹奏楽団や別の音楽サークルにも参加するようになりました。これらに加えて、以前からの語学教室(広東語)もあり、連日ほぼ休みなしという状態が定年直後から暫く続きました。

各団体の自主コンサート、東芝社内や地元の行事への参加も多く、充実した活動を送れる一方、余りにも忙しい日々が続いたことと、それらにかかる活動費や親睦飲み会等の出費が大きくなったことで、定年後3年目辺りから活動の優先順位を見直すこととしました。

本来の希望はオーケストラでフルートを吹くということなのですが、空席を見付けるのは極めて困難でした。そんな折、偶然2年ほど前に新設された都内の市民オーケストラに参加するチャンスがあり、交響曲を演奏するという長年の夢が実現

できました。それを機会に、ブラスバンドや別の団体への参加は辞めることとしました。ただし、30年間続けている社内ジャズバンドでのトランペット演奏は最優先としてそのまま継続しています。

これで忙しい生活からは解放されるはずでしたが、相前後して複数の知人から別のジャズバンドでの手伝いを頼まれるようになり、結局は3～4の団体を掛け持ちしているのが実態です。これらの活動では、関西での演奏に行ったり仙台や横浜の音楽祭に参加したりして、毎回新たな刺激を受けていますし、演奏技術をより高めるように今後とも努力していきたいと思います。

夫婦そろって充実した日常生活を送ることと年1回目標の海外旅行を楽しむのに支障をきたさない程度に、今後とも音楽活動にはほどほどに注力して、健康的で落ち着いた定年生活を過ごしていきたいと思っております。



東芝ライドオン・ジャズ・オーケストラのライブ
2012年6月



スペイン、バルセロナにて
2012年3月

ウォーキングコース ～塩田 高明さん～

昨年10月にOB会の仲間入りをさせて頂きました。今後とも宜しく願い致します。

私の自宅から100m位のところに大岡川という川が流れています。この川は鎌倉方面からみなとみらい地区方面に流れており、支流は元町から本牧へ流れております。

この川の清水橋から、かんのん橋までの往復5kmが私の朝晩のウォーキングコースの1つとなっております。清水橋の所には横浜商業高校(Y校)があり、かんのん橋には弘明寺観音(重要文化財)があります。私が子供の頃この川は生活用水が垂れ流されドブ川に近かったのですが、近年この川の浄化が進み、いろいろな生物が生息しております。

羽を広げると2mもありそうなアオサギ、真っ白なシロサギ、各種の鴨、カワウ、カモメ、たまには、コバルトブルーのカワセミも出没します。

川の中には鯉、ボラ、カメや海からエイもたま

に上がってきます。数年前には、アザラシのタマちゃんが上がってきてテレビでも放映されました。

また、この清水橋とかんのん橋の間は最近桜の名所ともなりつつあります。3月下旬から4月上旬にかけて、桜祭りが開催され大変ににぎわっております。横浜から京浜急行4駅目の南太田から6駅目の弘明寺の間です。この時期横浜にお越しの際は是非お立ち寄りください。

私は、昭和49年東京電気に入社致しました。当時はメカレジスターからE C Rに更新される時期で以来38年間営業畠を歩んでまいりました。その間東芝テックのPOSシステムは日本シェアNO1となりましたが、最近IBMよりPOS事業の買収により、世界シェアNO1になったことを大変に嬉しく思っております。益々の現役の皆さんの健闘とOBの皆様の健康をお祈り申し上げます。



私の近況報告 ～小堀 雅生さん～

定年退職してから早3年、退職後の明確な人生設計が出来ていた訳ではありませんが、第二の人生の過ごし方として、仕事を少々、空いた時間をそれ以外の楽しく多少とも有意義なことをして過ごしたいと思っていました。仕事の方はなかなか見つからずにはいましたが、これと言った趣味もなく、生来の出不精で人付き合いが得意でないため、家に閉じこもりがちになって社会との接点がなくなるのも嫌なので、何かしらボランティア的な事が出来ないかと思い、三島市の、視覚障害者への情報提供として新聞などの記事を録音・編集して毎週送り届けている団体に参加させて貰い、2年半ほど続けています。仕事の方も葦山のミニトマトの農園で収穫・管理のパート作業を見つけて1年10ヶ月ほど、運動も兼ねて雨が降っていない限り自転車で片道30分掛けて仕事場に通っています。1年毎に畑を更地にして、畝作り、苗植えから収穫、実を取り終わった苗の処分までの全てを行うため、かなりの重労働もありますが、幸い体を壊すこともなく元気で続けられています。仕事をしていると家でぶらぶらしていた時よりも自由時間が何倍もうれしく、ささやかな収入ですが全て小遣いとなっているため、現役時代よりも懐も温かく、心豊かに暮らしていけているように思

います。

常々、人生の終わりまで人には迷惑を掛けずに行いたいため健康と惚けには気をつけていたいと思っていましたが、最近日経新聞の電子版で耳寄りな記事を見つけました。東北大学の川島隆太教授は、年をとることを否定的に捉えずに、元気で賢く年をとる「スマート・エイジング」という生き方を提唱しており、達成するためには4つの習慣、則ち、身体を動かす習慣、バランスの良い栄養をとる習慣、社会とかかわり続ける習慣、頭を使う習慣を身につけなければいけないとしています。頭を使うとは、脳のトレーニングを自分自身ができるぎりぎりの難しさで行うという事がポイントで、知恵や知識は年とともにどんどんたまるので、脳は年をとればとるほど良い脳になるはずとの事。頭を使う習慣以外はほぼ出来ているように思っていますが、脳のトレーニングをどうするか、楽しみながら脳が鍛えられ、それが趣味に出来ればいいと今あれこれ検討しているところです。人生80年とするとこの分ではアツという間に過ぎてしまいそうですが、より充実した日々が過ごせるよう第三の人生設計をしていきたいと思っています。

全国の鉄道駅巡り ～長谷川 健治さん～

私の趣味は鉄道です。この趣味は学生時代に始まり、当時の国鉄272路線を全部乗りました。日本では4番目(?)の変わり者のようです。在職中は休眠していましたが、退職後、某鉄道雑誌に寄稿して以来また鉄道趣味が頭をもたげ、今度は目標を高くとJRと私鉄約1万の全駅を探訪することにし、訪れた駅各部の写真を撮り始めました。現在の進行状況は66%位です。写真を撮るのは駅を探訪した証拠になることは当然として、全国の駅および周辺の風景・風物を後世に残すことも目的としています。駅内外の写真を撮るため、一日5万歩を越える時もあり、良い運動にもなります。

学生時代に訪れた駅舎が残っていると旧友に会ったように懐かしく、昔ながらのレトロな木造駅舎を見ると心が癒されます。また、古い街並や旧跡なども見て楽しんでいます。

以下、私のお気に入りの駅や珍しい駅をご紹介します。

1. 門司港駅(福岡県、鹿児島本線)：私の故郷の門司にある門司港駅はネオ・ルネサンス様式の壮大な駅舎です。大正3年(最近リニューアルされた東京駅を



同じ)に建てられ、駅舎では全国で初めて国の重要文化財に指定されました。駅舎の造りも立派ですが、構内には年配の方には懐かしい昔ながらの設備が沢山残されています。

2. 宇都井「うづい」

駅(島根県、三江線):

両側にトンネルを持つ、T字型の変わった構造の駅です。中央上部にホームがあり、中央の



塔の中にある116段の階段を一生懸命上るとホームに出ます。地上20mの高さにあり、日本一の高さです。中国太郎の異名を持つ暴れ川の江の川を越え、山間を縫って走るため、高架にせざるをえなかったそうです。始点の江津駅から終点の三次駅を結ぶ列車は、上り一本、下り二本の閑散路線です。

3. 大社駅(島根県、

旧大社線):

出雲大社の最寄り駅として、大社を模して造られた寺院風の大きな駅舎ですが、



参拝者の減少などで利用者が減り平成2年に廃止されました。昔は急行や団体専用列車などが多く発着するため構内や待合室が広く、現在でも保存されています。駅の中に入ると、昔にタイムスリップした雰囲気になります。

4. 菊間駅(愛媛県、

予讃線):

瓦をふんだんに使用したユーモラスな感じの駅です。四国の瓦の発祥地である菊



間町にちなんだもので、国道196号には瓦工場が並んでいます。木造切妻屋根の左側にドーム(小窓)を二つ配し、設計者はかなり工夫した様子が見えます。駅の南側には瓦をPRするため、「菊間町かわら館」があります。

形が城のようにも見えるため、調べると、海側には昔村上水軍の水軍城があったそうです。

5. 油日「あぶらひ」駅(滋賀県、草津線):

これは何に見えますか? 「そう」忍者が呪文を唱える格好ですね。油日駅は滋賀県甲賀市にあり、

忍者の里です。駅舎は忍者屋敷を模して、忍者の絵があちこちに貼ってあります。油日とは変わった名前ですが、



近く、山に油日神社があり、火が万象根源の神として祭っているそうです。なお、隣の甲賀「こうか」駅内部には各所に忍者のトリックアートが描かれています。更に二つ隣の甲南駅には甲賀流忍術屋敷があります。

6. 永平寺口駅(福井県、

えちぜん鉄道勝山永平

寺線):

入口にバラ窓、側面には縦窓があり、寄棟造りの瓦屋根を持つ和洋折衷の駅舎で、レトロで趣があります。私



はこの種の様式の建物がお気に入りです。この駅は国の登録有形文化財に指定されていて、えちぜん鉄道には登録有形文化財に登録されている駅が他にもあります。創立時の会社方針でしょうか?

永平寺口駅から永平寺まで京福電気鉄道永平寺線がありましたが、平成14年に廃止されました。

7. 小和田「こわだ」

駅(静岡県、飯田線):

人跡稀な場所にある駅は「秘境駅」と呼ばれ、この駅はその代表の一つです。駅近くの住宅は一軒のみで、もよりの塩



沢集落へ行くには徒歩で1時間もかかります。しかし、佐久間ダムができるまでは家が多かったそうです。静岡県最北端駅で静岡・愛知・長野の3県にまたがった県境駅です。

駅名が皇太子妃雅子様の旧姓である小和田「おわだ」と同じため、「恋成就駅」として賑わった時期もありました。駅室内には結婚式の写真が貼ってあり、近くに結婚式場跡もあります。

8. 東栄駅(愛

知県、飯田線):

東栄駅は飯田線の始点豊橋駅から50kmの位置



にあります。当地の重要無形民俗文化財「花祭り」

で使用される鬼面をモチーフにした駅舎です。列車に乗ってこの駅に到着すると、睨みつけられたようでびっくりします。なお、構内側には写真のように目がありますが、表側には目が入っていません。待合室内には700年の伝統を持つ「花祭り」の由来が書かれ、実際に使われる赤鬼・青鬼の面が展示されています。

9. 熱塩駅（福島県、旧日中線）：赤い屋根を持つ山小屋風の駅で、私が駅舎に興味を持つきっかけに



なった駅の一つです。私が初めて乗った昭和39年でさえ朝夕の3往復の閑散路線で「日中走らない日中線」と揶揄され、昭和59年に廃止となりました。現在は構内にラッセル車や客車が保存され、駅舎も大切に保存されています。蔵で有名な喜多方から北にあり、米沢に抜ける街道沿いにある静かな町です。近くに熱塩温泉もあります。

10. 木造「きづくり」駅（青森県、五能線）：

北方向に縄文時代晩期の亀ヶ岡遺跡があり、遮光器土偶が出土され



ました。この遮光器土偶の大きな模型を正面に貼り付けた駅舎です。「巨大な土偶が出迎える迫力ある駅舎」として「東北の駅百選」に選定されました。迫力もありますがユーモラスな顔で、地元では「シャコちゃん」と呼ばれ親しまれています。

11. 上白滝駅（北海道、石北線）：

全国で最も列車の停車数が少ない駅です。この駅のある遠軽（えんがる）町の中心駅遠軽方向への通学用に下り朝一本、上り夕方一本のみ停車します。その上り列車は西側の隣り



駅の上川駅までに1時間8分要します。これは鉄

道駅一区間の所要時間として日本最長です。駅裏に牧草地があるように、昔は牧場が多かったのですが、集落が離散し利用者がわずかになりました。

昨年この駅を含めた東北道の駅探訪の旅では、熊が出そうな駅や信号場が沢山あるため、熊対策をして探訪しました。閑散駅が多いためこの時は車で行き、熊の出そうな駅では次のように行動しました。まず、駅前に車を止め、カーステレオのボリュームを大きくして一分間待機する。周囲を見回して熊が見えなければ棍棒を持って車の外に出る。熊が出たらすぐに車に飛び込めるようにドアは開けたままにする。大きな声を出しながら、写真を撮って回る。以上、熊対策をご説明しましたが、いつも大丈夫との保証は致しかねます。

12. 女満別駅（北海道、石北線）：3階建て洋風の美しい駅舎です。図書館が入居している大きな駅ですが無人駅で



す。経費節減のため、最近無人駅が増えていきます。以前は木造駅舎でしたが、平成2年に洋風の駅舎に変わりました。学生時代、北海道には趣のある木造駅舎が多くありましたが、現在はほとんどなくなり大変残念です。町の中心から離れて網走湖に近いのか、駅前に住宅は少なく店もありません。

以上、現在の興味ある駅を紹介しましたが、これまで学生時代に撮った駅を元にして、いくつかの鉄道雑誌に寄稿しています。今年は老舗の旅行雑誌「旅」に寄稿し良い記念になりました。

私のホームページには他の駅なども紹介しています。時間があればご覧ください。

<http://www1.parkcity.ne.jp/lvriver/index.html>

注：www1の1は数字の1、lvriverのlはLの小文字。

90歳まで現役で 一腹式呼吸で健康づくりのすすめ

～本問 剛雄さん～

東芝テックを退職後18年の歳月が過ぎ、小生71歳になりました。以前から腹式呼吸と健康について永年勉強してきましたので、何かの参考になればとおもい投稿しました。

腹式呼吸とは、腹横筋や丹田を使って肺の汚れた空気を吐き出し、反動で新しい空気を吸い込む呼吸法です。現在は多くの方が何らかの病気や、その兆候を感じているのではないのでしょうか。高血圧・糖尿・コレステロール・手足のシビレ・高脂血症・腰痛・胃腸障害などなど挙げられます。原因の多くは、血液の循環が悪くて起こると言われています。そこで空気の濾過装置である肺機能が重要なのです。肺の空気を全て出し切り、新鮮な酸素を心臓に送って新陳代謝を促進するのが腹式呼吸なのです。

実践している周囲のみなさんは腹横筋の強化により腰痛は皆無となりました。また4年前には遺伝性の強い心臓弁の交換手術を受けました。カテーテル検査で「あなたの血管は綺麗で血液の流れが良い」と専門医に言われました。これも腹式呼吸のおかげだと思っています。

一方趣味である尺八との出会いは入社時でした。当時は胃腸が弱く、入社早々に急性肝炎に罹り2ヶ月入院しましたが、自分の力で健康な体にならなければと思っていた矢先、同僚から尺八クラ

ブを紹介されたのがきっかけでした。健康になりたい一心で取り組み、1年後には胃弱から解放され風邪も引かない体質になりました。

さらに尺八の美しい音色を出したいと思っていた時、15年前に腹式呼吸を知りました。尺八と腹式呼吸との調和をどう図ったらいいのかなど試行錯誤を繰り返し、その効果を確実なものにして仲間伝えてきました。

仲間で作った尺八の会員年齢は15歳から上は87歳まで一緒に舞台に立っていますが、芸に年齢差は感じておりません。私は仲間に「腹式呼吸で10歳若く、90歳まで現役で」と説いています。これからも多くの人に尺八の音色や民謡の唄声を聴いていただき、腹式呼吸への理解を深めていただけるよう努めたいと思っています。



東日本大震災被災地岩手県山田町がれき視察報告

～榎原 光敬さん～

去る5月25日(金)～26日(土)東日本大震災被災地岩手県山田町のがれきの状況を視察してきました。これは三島市環境市民部の公募抽選に当選しての参加です。5月25日午後9時市役所前出発し27日午前1時30分帰着の0泊2日の視察でした。東北道を出て釜石道東和で現地のバスに乗り換え、釜石市、大槌町を経て山田町に到着。がれき置場の視察に先立ち、午前9時より町役場の敷地内にあるコミュニセンターで山田町沼崎町長及び担当職より三島市の諸々の協力に対するお礼、被災状況の説明、震災がれきの状況、復興計

画の説明を受けた。山田町庁舎は少し高台にあるので津波の被害は地下室のみであったとのこと。現在がれき置場になっているところは山田町の観光拠点となっていたところががれきが処理されないと経済面での復興計画の遂行が出来ないとのこと。隣接する宮古市に焼却炉を増設して焼却を進めているが処理の進捗から推測すると処理完了まであと15年～20年かかってしまうので他県の応援を得て処理を早く完了したいとのこと。次がれき置場での視察に移動した。街は一面、建物は全く無くコンクリートの土台だけが敷地区分でき

る様残してあるが将来はがれきになってしまう。海岸そばのがれき置場には柱材、角材、可燃物、不燃物、堆積物、金属くず、コンクリートがら、畳、つぶれた自動車、焼け爛れた自動車、魚網等が区分して置かれている。木材を破碎する機械が2種類、がれきを篩う機械等が置かれていた。岩手県職員、処理請負業者、町職員からがれき処理状況、方法等の説明があった。島田市が試験燃焼で受け入れた木片に70kgのコンクリートの塊が混入していたのは、木材チップがコンクリートの道路部分に置かれていたので、重機で木材チップと一緒に道路の縁石を挿んでコンテナに入れてしまったとの説明でした。今後木材チップは3cm厚の鉄板を敷いたところを置場にするとのことので鉄板を敷いた現場を確認できた。問題視されている木材チップ置場の空間放射線量は三島市の職員が持参した測定器では毎時0.05マイクロシーベルトで、置場のはずれでも毎時0.07マイクロシーベルトであるので何ら問題無い状況である。木材チップ等は2種類の大きさに区分しているが最終的には人の手で選別していた。がれき置場より数百m離れたところには大きなテントがあり、コンベア、選別機、篩があり木材チップに混ざり込んでいる金属、アルミ等を選別している。こんなに手をかけて選別していることを認識した次第である。三島市は試験燃焼を実施すると表明しているが、空間放射線量も問題無いので迅速に試験燃焼を実

施し、がれきの受け入れを行い被災地の復旧、復興に協力をして欲しい。何が何でも受け入れに反対との意見の人がいるが、データの裏づけのあるがれきは焼却能力が許容する限りは受け入れるべきである。市民が燃やすごみに出している古紙は選別してミックス古紙に出せば焼却炉の負荷を軽減できるので、その分被災地の木材チップを受け入れられる。これは重要なエコ活動であると考えられる。帰路、隣接する大槌町に寄った。平地は一面土台のコンクリートしか残っておらず、津波と油火災で被災した小学校の敷地には、市役所、警察署、消防署、郵便局等の中枢機能のプレハブ庁舎が建っていた。更に釜石市を通過して帰路についてあちこちのがれきの山があった。三島に着く前に参加者36名に対し木材チップ燃焼の受け入れについて目を閉じて挙手によるアンケートを求めたら、受け入れ賛成34名、どちらとも判断できない2名、反対は0名でした。現地に行き、現実を確認できたことで「山田町の木材チップの受け入れを促進しよう」と大いに言うことができるようになった。



趣味のグラウンドゴルフ ～小池 千秋さん～

私の現在の趣味（スポーツ）の一つはグラウンドゴルフです。グラウンドゴルフは現在ゲートボールに変わりつつ人気があるシニアスポーツで、ゲームを楽しみながら歩くことができるので健康作りには最適と思います。道具（クラブ、ボール、マーカー）さえ個人で持参できればOKです。ゲーム内容は1打目をスタートマットの上にボールをセットし、ホールポスト目指して打ちます。ホールポストの輪の中「トマリ」に何打で入れられるかを競うゲームです。練習は二日町多目的グラウンド（旧三島南高跡地）で毎週平日（月）～（金）の午前中9：00～11：00頃まで4ゲーム（8

ホール×4回、PER96）で争います。あなたも気軽に健康的なグラウンドゴルフに参加してみませんか。



右から3人目が私です

職場OB会 “灯友会” ～東 高司さん～

今から半世紀前、その頃大仁工場は灯器部門が上段工場、事務機部門は下段工場にと分かれて製造や製品開発を行っていました。今では見るのできないのこぎり型屋根、汗と油にまみれた製造ラインを思い出します。当時は東京オリンピック景気もあり事業は拡大基調、工場建設が進められ、昭和39年灯器部門は新設なった三島工場1号A建屋と5号建屋に全面移管され部品加工から製品組み立てまでの一貫工場として本格稼働しました。この頃既に照明光源は蛍光灯が主力となり家庭用器具の他、施設用照明、高速道路照明、新幹線用車両用さらにはナトリウム灯や水銀灯等、幅広く時代先端の製品を作っていました。その製品設計を担当していた部署を灯器技術課と言い、その頃の仲間約20名が今も年一回集まって懇親会を続けております。会の名称は「灯友会」です。メンバーは当時の課長であった根岸さん(現在86歳)を頭に梶山さん、大屋さん・・庶務係として采配を振るった才媛美佐さん、トレースも担当した常さん、元新米社員等々、メンバーは伊豆の地元だけでなく東京、埼玉、愛知からも馳せ参じます。会社の事業拡大や人事異動で設計から製造へ、照明部門から他部門へ移ったり、結婚で退社した方などキャリアは様々、定年まで照明部門だった方が少数派で、昔の青焼き図面やドラフ

タ製図版、出張の思い出話、豆炭や、いろんな話題が飛び交い語り合いは深夜まで、昭和30年代後期から40年代の高度成長期の熱気の中で互いに競い合い新しい製品を生み出した仲間としての思い出話は盛り上がり尽きることがありません。仕事が忙しかった分、遊びにも熱心で忘年会に遠出したり夏は南伊豆や本栖湖などでキャンプしたりと仲間のまとまりが良かったこともこの会が長続きしている要因です。

この灯器技術課を離れた昔の仲間がプリンタやファクシミリ部門でまた出会い若かった頃を語る内に一度声をかけて見ようと思い立ち、平成5年に第1回目を開催、2回目は5年後にその後は毎年の開催にとみんなの意見が一致して現在も続けております。会長は置かず幹事は持ち回りで穴場を捜しアイデアを凝らし、今年は伊豆高原でしたが、去年は御殿場、その前は箱根芦の湯と温泉につかり、花見をし、美術館巡りをして遊んで帰ります。次回の場所がどこになるか楽しみです。照明事業は東芝ライテックに事業移管されて今は当社にはありませんが蛍光灯からLED照明へと時代は変わり最近のニュースでパリのルーブル美術館の正面を照らしているのが東芝LED照明と聞けばさすがはと胸を熱くします



東京電気名古屋営業所37会 / テック経験録 ～小菅 壽勝さん～

37会は昭和37年に東京電気名古屋営業所に入社した高校卒業生の集まりです。

サービス係(現在のT, E)に溝部泰也(倉岡)、竹内義高 灯器係に佐藤讓制御器係に小菅壽勝、高嶋隆光 庶務に中村美智子(六郷) 経理に近藤

菊男の7名です。当時の所長は大沢社友でしたが10月に小林社友に交代しました。当時の営業所は中区大須の赤門に有りました。橋本代表率いるレジスターの直販社員が10名ほどでサービス林讓他6名灯器、小林所長、中村博光他5名経理五味

他4名制御器はまだ組織が名古屋には無く近日開設と聞きました。

4月1日初入社しましたが私達の仕事が無いので照明の仕事をお手伝いしました。この年に東海銀行本店ビルが出来て東芝の照明器具が受注でき現場に出向きました。又同じく東邦ガス本社にも東芝照明器具が納入されました。

7月に高嶋氏と2人で東京本社の制御器課に研修に出向きその後は大仁工場で制御器の製造工場に押しボタンスイッチ、タイマー、カウンター、リレーの勉強をしました。大仁のみかどや旅館が宿で大友さんがリーダーで大阪から来た2人と合計5人で楽しい自習生活をしていましたが私は体を壊して12月に名古屋に帰りました。

現役時代から定年退職後も1年に1度37会を続けています。中村女史は結婚後退職し参加しません溝部氏は金沢支店のサービスの代表者で中途退職され陣笠と言う料理店を開業しています。現在溝部、金沢 佐藤、大阪 近藤、愛知豊田 小菅、茨城 高嶋、竹内、千葉 中村、愛知に住んでいますので37会開催場所を決めるのに苦労します。金沢陣笠で一度溝部氏のご接待で開催しました。東京、名古屋、も有りますが今後は会員の溝部氏が立派な料理店を経営するので金沢陣笠での開催を予定しています。

名古屋に帰ると名古屋営業所に1年先輩の須藤保さんが来て制御器の営業を開始して降りました。すでに名古屋には東芝の代理店兼務の2社と他2社の制御器の代理店が4社在りました。営業は先輩がするので私は商品管理が担当でした。明けても暮れても東芝のローラータイプライターで売り上げ伝票を発行して商品を数え箱詰めする仕事を半年しましたが嫌になりました。私は卒業前在学中に他の企業に就職が決まっていたのですが仕事の内容が経理の仕事でしたので職業指導室で先生に営業の仕事に付きたいと相談して居る所に高校の先輩卒業生の中村博光氏と五味さんが営業社員が急に一人入用に成ったので誰か居ませんかと訪ねてくれたのでこれ幸いと東京電気に入社したわけで営業が出来ないならこの会社を辞めようとフランスベットのセールスマンに応募して採用されました。早速小林所長に退職届けを出して退社の意思表示しましたらその夜小林所長が自宅

訪問して母親や兄にベットのコミッションセールスなど勤まらないので東京電気に残る事を進められ私は家族に相談してませんのでこんな親切な上司が居る会社をなぜ辞めるのかと強く叱られて東京電気勤務を続けました。一年後に営業に配属が決まりました。先輩が出来ない仕事を探そうと豊橋の家電営業とオムロンショップをしていたサン電材社と浜松の高松電気を特約店にして営業をしました。名古屋市内では本社に工場を機械を購入する会社を情報収集してムツミ工業に出向き東京電気制御器の購入を即しましたが制御盤は下請けで作るといわれ制御盤の受注工作をして成功しました。当事営業所には自家用車が無く運送会社の運転手付のデモカーが採用されていました。私が運転免許を取り先輩の須藤氏も運転できるので営業用のライトバンを買う提案を課長にしましたら本社に申請して見ろと言われました。本社は事故が起きると問題なので営業の自家用車は持たない原則があると言われました。但しレンタカーなら事故責任が無いのでOKと言われました。相談の結果特約店の社長と相談してトヨタパブリカと、カロラのライトバンを月額47,000円で3年契約しました。私がパブリカで先輩がカロラです。当時運送会社に7万円ほど経費負担してましたし車が2台で行動が頻繁に出来有効でした。社有車の車を採用したのは名古屋営業制御器が最初だと思います。その後人員も多くなり車の運転は定石手段と考えられ運転免許の無い人は社費で免許を取りに行くように成りましたが後輩または先輩も居ましたが小菅に感謝すべきと言ってやりました。トヨタ自動車の担当をしましたが各工作機械に採用されたtecの制御部品の保守用で月間の取引が3-4万程度で豊田通商経由で取引をしましたが毎週各工場にPRしました。当時は本社工場、元町工場、上郷工場の3工場だけでした。上郷工場がエンジンの鑄造から加工まで行っていたので制御部品の需要も多く保全課にモータータイマーUTシリーズを中心に実用実験を進めました。トヨタは通常タイマーは立石のSTPが中心でした。在る時タイマーの大量需要が発生しました。トヨタ上郷工場はトランサーマシンなどで殆どの加工が無人のロボット作業でその工程を天井に看板方式で表示して集中管理することになり

ました。そのため最初に100個のモータータイマーが必要に成り立石とtecの2社選別に成りました。私の勝利が決定しました。実用実験の効果もありましたが実は他に原因がありました。タイマーは遅延リレーと言われ制御回路では一般的に何秒の設定をします。従って30秒計が主力でした。エンジン加工の工程には10分以上の工程もあり30分計UT-30Mの在庫が東京電気に沢山有りましたが立石に在庫が無かったのが原因だと後で知りました。いずれにせよ大成功でした。その後トヨタの取り引きが多くなり直接口座が出来制御器撤退後もバーコードプリンターの受注に役立ちました。

トヨタの行灯工程は東海電気工事が受注して制御盤はテック制御器代理店兼務の東海オートメーションが製造しました。500個ほど消化した時点で電気工事が近畿電工に変わりましたが制御盤は東海オートメーションでした。次の工場の担当からタイマーは立石に変えろと云われたと佐原社長から苦情があり私に担当者を教えるから撤回しろといわれました。栈敷課長とトヨタ自動車の担当に今まで採用され事故を聞いていないがなぜ立石に換えるのか問質しましたが私はタイマーは立石に決めているの一言で譲りません私もしつこくやりましたら栈敷課長が足をはたきもう止めろの合図でした。帰るのがしゃくで近くに居た女子社員に今お会いした担当の課長を呼んで欲しいと頼みお会いして沢山採用願ひ有難う御座いました。但し不都合が無いのに立石に変わるの納得できないと訴えたら東京電気で継続が決まりました。最終的に1,000個以上のタイマーがトヨタ自動車に採用されました。制御器でそれなりの仕事はしましたが制御器の事業から撤退の色彩が濃くなり本社計量器商品部に転属しました。仕事をしながら労働組合中執を経験しましたが私には性格的に合わない仕事で苦勞しました。二年の任期が終わる頃に矢田取締役組合の小菅来なさいと呼ばれ今度市販営業がテック電子に移籍されるが行きたくない人を3人選べと言われました。特需営業がレジスターは売るが大手量販店に秤を売るやつが居ないので大阪、名古屋、東京の特需営業に秤担当を置くのだと聞かされました。解りました一人決定者が居ます。

それは私です。と言って名古屋支店特需課でユニーを中心にラベルプリンター、電子料金秤の売込みをしました。各地に新店がオープンしてレジスターの納入とサービスで訪問しましたが私は計量器商品部の頃ノベルテで作ったテックの秤の宣伝入りのエプロン姿でユニーの食品バックヤードでプリパックの手伝いをしました。計量器商品部の頃自動包装機を担当して故障ばかりでハンドラッパーで包装して手馴れていました。

ユニーはラベルプリンター他秤は大和秤を採用していましたが私は操作は出来るので値付作業もしました。新店は魚、肉、野菜にチーフが居ますがパートさんは初めてで魚の値付に名前が解らないのが在り私が指導します。特に肉の部署はスライスされた肉を見ても部位が解りません私は1年以上何店かのオープンを経験して殆ど肉の部位が解ります。値段は値段表が張られているので解ります。そんな経験を2年近くするうちに魚部門の責任者外山課長がレジスターはTECだが誰もバックヤードに来る人は居ないが小菅はよく遣ってくれるので今後秤は大和を止めてTECにするといわれました。外山さんは後にサークルK、サンクスの会長になった方です。ユニー中部、静岡、北陸の全店にTECラベルプリンターと電子料金秤が100店以上に採用されました。テックグループは須崎御大が来社され組織が変になったと私は考えます。ラベルプリンターを300台ほどユニーに販売しましたが1台が30万円ほどで1店舗3台納入しても100万に至りませんがプリンターに使うラベルは消耗品で月に1店で20-30万に成ります。

ラベルは私の仕事以外でテック電子サプライ課の売り上げになります。小菅万年課長でテック電子サプライのユニー担当は部長になりました。これ公平ですかテックでいろいろ仕事はしましたが東静電気からお誘いが在りましたが断りました。小河取締役からもお前は行く気が無いので断ったと言われました。また部長に推奨したが資格が不足したので来年まで待て資格は上げたといわれました、がしかしその年の暮れに小河取締役に呼ばれ総務から来年600人のリストラをするに当たり東静電気から小菅にお呼びが係り一人でも減らしたいので実行せよとの命令なので行ってくれと言

われました。

東静電気で灘波社長の元で石油系の真空蒸留再生器を担当して石油洗浄溶剤の日本石油化学の協力を得て日立金属、トヨタ自動車などの大手企業に販売して年商3億の事業に成功しましたが後の上層部と意見が合わず69歳で退職し茨城竜ヶ崎に新居を築き元気に楽しく老後生活をしています。東芝テックの関係は37会の他に東関東東芝テックOBゴルフクラブに入会しています。



支部ニュース

三島・函南支部

●第五回総会が5月16日、48名の会員が出席し開催されました。●

第一部 総会

* 藤田支部長の挨拶

過去4年間の活動記録として、スクラップブックを創りましたのでご覧ください。

今年度の重点施策として

- ①行事への積極的参加
- ②OB会だよりへの原稿の投稿
- ③会への提案、提言
- ④会員拡大のための情報収集

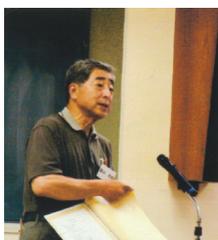
* 来賓、杉之内会長挨拶

OB会をさらに親睦&絆をより深めてください。

本部総会へ積極的に参加していただきたい。

* 来賓、松山参事挨拶

今年度、新入社員65名が入社、静岡事業所に20名が配属されました。新商品のMF Pの量産、さらにIBMのPOS部門の買収など明るい出来事がありました。これからも積極的に活動していきたいと思います。議題…平成23年度の活動報告、会計報告、会計監査、平成24年度の活動計画が森野幹事より提案され、全員一致で承認されました。



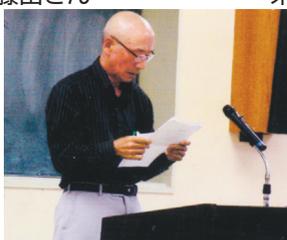
支部長挨拶 藤田さん



来賓挨拶 杉之内OB会 会長



来賓挨拶 第三総務室代表 松山様



23年度 活動報告 森野さん



承認していただいた方々

第二部 “環境 & エコ” 講演会

*「ゴミ処理に関する体験談と題して」 講師:当支部会員の田中光顕様

要旨 私は、静岡県・三島市の環境審議会・廃棄物処理委員会のメンバーとして活動し、「ゴミ一割削減目標」に取り組みました。削減するためには「ミックス古紙」と「燃えるゴミ」の分別方法などについて、平成18年から実施しております。さらに効率を高め削減するために、一人一人のご理解とご協力をお願いします。

*「生活防衛こそが環境改善への道」 講師:山本達雄様(環境のパーソナリティー)

要旨 環境、エコに対してどう向きあっていけばいいのかについてお話します。エコ生活は押し付けはダメ。“共感”で進めなければなりません。ノルマ、義務感、使命感でやっては長続きしません。頑張らないことです。お金を使わなくて済むようにすると、結果としてエコになることが多い。ぜひエコ生活を進めてください。日本は資源の無い国です、世界の人口はこれからどんどん増えます。近い将来は地球資源の奪い合いになるかも知れません。水の使用量の削減、電気の削減など知恵と工夫で無駄なエネルギーを防ぐことができます。個々人がエコについて真剣に考えてみましょう。



第二部 講演会 司会担当 杉村さん



“環境” 講師:田中光顕様



“環境とエコ” 講師:山本達雄様

第三部 懇親会

第二部の講師二人を交えてなごやかなムードで開かれました。人はみなアルコールが入ると陽気になりますね。懐かしい人との出会いを大切に思い思い、話題に花を咲かせ楽しいひとときを過ごし、来年また会える日を約して散会しました。



司会の田代さんと参加者



第三部 懇親会“挨拶” 高橋先輩



“挨拶” 土屋先輩



“中締め” 中島先輩

●グラウンドゴルフ&エコセンター見学 (H24. 6. 13実施) ●

グラウンドゴルフ

梅雨の合間を縫って行われたグラウンドゴルフは楽しかった。初めての人、二回目の人、よそのクラブに入って活躍している人など、様々の会員 22 名が参加し実施されました。ルールはいたって簡単であり、健康面でも適した老若男女のスポーツだと思う。あちらこちらではしゃぐ歓声、ホールインワンした喜び、思うようにうまくいかず残念がる人など、様々な光景が見られ笑いの渦ができました。賞品は全員にゆきわたり、それはそれは楽しいひとときでした。またやりたいなどの多くの意見を聴きながら、次の見学場所に移動しました。



全員で記念撮影



普段見えないような真剣な顔



優勝

エコセンターの見学

総会時 (5/16) の第二部に行われた「環境とエコ」講演会のフォローアップとして23名の参加者により実施されました。登録有形文化財として、登録された旧三島候所庁舎を見学しました。山本様 (総会時の講師) の案内で、

- ①節水 30% の削減 (簡単なシャワーヘッドをつけるだけ、安価です)
- ②冷暖房対策 (ダンボールを窓の底辺につけるだけ)
- ③LED と白熱電球との比較
- ④アルミ箔を用い気化熱を利用したお風呂の効率
- ⑤涼風を呼ぶ緑のカーテンなど、どの家庭ですぐ役立つ事例・事例の紹介

エコ全般に対する考え方、エコ活動の推進の仕方など、非常に為になったお話を聞くことができました。全員はみな満足した様子が見られ、実施して本当によかった満たされた充実の一日でした。



全員で記念撮影



エコセンター玄関
スタンドグラスと出窓



エコセンター内の説明と紹介

●沼津御用邸記念公園と潮風ウォーク●

支部行事の一環として、平成24年10月3日（水）に41名の参加のもとに実施しました。当日の天候は薄曇、暑くもなく絶好のコンディションに恵まれた一日でした。

まず最初に訪れた、

1. 沼津御用邸記念公園

明治26年に造られ歴代の天皇陛下をはじめ多くの皇族に利用されてきました、由緒ある家具、調度品類を展示公開している。庭園は広く整備されていた。



2. 牛臥山公園

駿河湾、伊豆の山なみ、日本平、南アルプスの山々などの景観が望む事ができ、眺望豊かな公園として開園され、園内は自然と調和を生かし、環境に適した植物が多くありました。映画“わが母の記”が撮影された場所でもあります。



潮風を受けながら、富士山を見つつ港大橋を渡って、沼津港食堂街での昼食、朝獲れた新鮮な魚類を参加者それぞれが舌鼓し、満足した様子でした。



3. 大型展望水門「びゅうお」

津波の防護水門、展望設備が併設され地上30mの展望回廊からは富士山、愛鷹山、沼津アルプス、箱根連山、眼下には駿河湾とパノラマが楽しむことができました。



4. 千本松原

10kmにわたる黒松林の千本松原（全国松原百選）平成25年度総会時に実施を予定している“浜石絵”。これに使う海岸に落ちている石を各人2～3個拾い集めました。

（浜石絵とは石に水性絵具で写実的な絵や抽象的な絵を描き、飾りにしたり、書類押さえ等に利用する）

その後、街を散策しながら歩き8km余りの行程を終え、2時過ぎに沼津駅に着きました。楽しくかつ有効なイベントを終わることができました。参加されたみなさんお疲れ様でした。ありがとうございました。



駿東支部

● H24 年度総会報告 (H24年5月23日) ●

駿東支部が活動を始めて四回目の総会が開催され H23 年度の活動経過及び会計報告他の議案が審議されました。来賓として出席された杉之内 OB 会会長からは近いうち東海大地震も予想される中でこの地域支部の活動を通じて皆さんが絆を大切に、仲間を増やして OB 間の交流を盛りたてて欲しいと挨拶されました。また今回の総会では特別講習会を設け、救命処置の一つである AED 装置の取扱い方を教えて頂きました。講師は会社総務の森田様をお願いし救命方法の基本的説明を受けた後、人体模型と機材を使って OB 会員自らが救命方法を実習しました。最近公共の施設や駅構内、公園等に設置が進んでいる AED ですがいざという時に使い方を知っておくことは人命救助に役立つばかりでなく、処置が遅れることにより後遺症が残ったりすることの防止にも役立つこととなり、今回の講習会の成果が期待されます。

支部活動報告では定例の支部総会及び懇親会開催の他、ウォーキングは4月のせせらぎコースに続き今回は清水町の本城山(旧戸倉城址)から狩野川堤を下り沼津港までの2時間30分を計画し、事前の下見を行いました。好天に恵まれ川沿いの桜も満開でゆっくりと時間を計りながら港びゅうおまでの行程を歩きました。その他東芝ライテック沼津工場(LDF)の見学会(11月)や静岡事業所三島納涼祭(8月)への参加等が報告され、24年度活動計画等を含め議案は全員一致で承認されました。

恒例の懇親会は石井幹事の司会で始まり、会員一人ひとりがそれぞれに現在の仕事や趣味の話しをしたり現役時代の思い出話、また年金や病気のことなどに花を咲かせ楽しいひと時を過ごしました。

柿田川のボランティアを長年されている下河原さんや長泉でお花の会で活動している菅原さんの活動の様子は OB 会報にも掲載されました。

近況報告のなかではこの支部総会に参加するようになって初めて会社では会えなかった違う職場の方々とも知り合いになれてとても有り難いと述べる方や、今でも仕事を続けているが60歳を超えてからCADというものを初めて触ったとても楽しいという方、また初参加のNさんからは地元神社の氏子総代になっていると古い歴史を知った等と珍づらい話も飛び出し和やかな懇親会となりました。

また今回の総会に都合で参加出来なかった方々からのお便りも読み上げられたり、次回の再会を確認しながら総会はお開きとなりました。



《第 19 回 O B リレー首都圏ファミリーウォーキング》

東芝テックOB会・テック電子OB会・東芝テックソリューションサービスOB会 共催
旧江戸東京散歩・第七弾

《王子・飛鳥山～旧古河庭園～六義園・駒込をめぐる桜ウォーク》

- ① 開催日時：平成 25 年 4 月 5 日（金）11：00～16：00
（当日 6：55 AM の NHK 気象情報の降水確率 50% 以上の場合は平成 25 年 4 月 6 日（土）に順延します）
- ② 集合場所：J R 京浜東北線・王子駅・北口改札口
- ③ 集合時間：10：30 AM 受付開始～11：00 出発～
- ④ 参加対象：OB 及びその家族、知り合い友人をお誘い下さい。
- ⑤ 参加費：一人 300 円 / 家族単位 500 円
- ⑥ 今回の案内人：鎌田芳郎（東芝テックOB会）
- ⑦ 予定コース：J R 王子駅北口（11：00 出発）～王子神社



（王子権現、大銀杏）～王子稲荷神社（千年の歴史：右上の写真）～名主の滝公園～音無親水公園（12：00 昼食～13：00 出発）飛鳥山公園（江戸の桜の名所）～渋沢庭園～旧古河庭園（古川財閥、西洋と日本が調和する歴史名園、写真右）～六義園（柳沢吉保が元禄 15 年に築園～三菱創業、岩崎弥太郎別邸）～J R 駒込駅（16：00 解散）・・・（全コース約 9 Km・・・15,000 歩）

- ⑧ 申込先・方法：下記幹事のいずれかに E-mail 又は Fax、電話にて、住所、氏名、電話、最終所属をご連絡下さい。申し込み締め切りは平成 25 年 3 月 30 日（土）
- ⑨ その他・持参品：お弁当・健康保険証・雨具・・・解散後、希望者は駒込駅近くで、ささやかな打ち上げ会を予定しております。



塚原 仁	TEL/FAX: 042-364-8397	E-mail ICK59860@nifty.com
鎌田芳郎	TEL/FAX 03-3771-0057	E-mail kamayosi@zj8.so-net.ne.jp
TTSS OB会	TEL: 03-5245-9001 FAX: 03-5245-3494	E-mail TTSS_OBkai@toshibatec.co.jp
吉田昭太郎	TEL: 0463-58-8610 FAX: 0463-26-3075	E-mail shotaro.yoshida@nifty.com

第10回「東芝テックOB会 ウィナーズゴルフコンペ 2012」

優勝は 小坂千宙さん

このコンペも今年で、第10回を迎えました。

今までいろいろお世話頂いた皆様に感謝申し上げます。

ウィナーズゴルフコンペの第1回は2003年（平成15年）でした。

この会は、東芝テックOB会の当時の副会長を務められた山崎恒久さんの発案でスタートしました。登録されたグループから優勝者もしくはそれに準ずる代表と

前年度好成績のシード者が一堂に会してプレーを行ってきました。

今年も14のクラブからの代表と幹事合計25名で、楽しい一日を過ごしました。

今回から幹事さんも競技に入るように変更しました。

日時 2012年11月16日（金）

9時16分スタート

場所 富士エースゴルフクラブ



優勝の小坂千宙さんの挨拶のスピーチ



準優勝: 草木 茂さん



全員写真

出場者の方々（順番はOB会ホームページの登録グループ一覧の順です。）

また、出場者の元気な写真は、ホームページで見ることが出来ます。

会名 (グループ名)	出場者
テック天城ゴルフ会	岩本 幸夫さん 草木 茂さん
協和寮OB会	渡辺 利伊さん
KGC杯	根本 春義さん 土屋 清勝さん
葦山会	東 高司さん 松永 秀隆さん
東関東TTEC-OB会	福井 正彦さん
岩ばろう会	柴田 和暁さん
高橋杯会	永井 准四郎さん
TK会	鈴木 成二さん
FCCゴルフ会	小坂 千宙さん 佐藤 輝義さん 米田 雅彦さん
40会ゴルフ会	山本 智紀さん
ラブラフOB会	斉藤 共汎さん 米田 和男さん 川島 博さん 金高 敏夫さん
秦野好球会	伊藤 泰至さん 原 修さん 高木 貴生さん
海宮湘南の会	村木 仁司さん
幹事さん	友久保 義昭さん 会澤 洋平さん

シード選手は、秦野好球会の原 修さん、FCC会の小坂 千宙さん、佐藤 輝義さん、ラブラフOB会の金高 敏夫さん、40会の山本智紀さんです。

当日の結果（ベスト10です。）

敬称略

順位	氏名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	小坂 千宙	40	47	87	15.6	71.4
準優勝	草木 茂	39	48	87	14.4	72.6
3	根本 春義	47	51	98	25.2	72.8
4	山本 智紀	45	45	90	15.6	74.4
5	鈴木 成二	47	54	101	26.4	74.6
6	伊藤 泰至	45	43	88	13.2	74.8
7	川島 博	43	49	92	16.8	75.2
8	柴田 和暁	45	44	89	13.2	75.8
9	会澤 洋平	50	51	101	25.2	75.8
10	友久保義昭	44	44	88	12.0	76.0

その他アトラクションでは。

ベストグロ賞は、斉藤 共汎さんで、グロス83でした。

ニアピン賞は小坂 千宙さん、斉藤 共汎さん、福井 正彦さん、岩本 幸夫さんでした。

今回も幹事さんご苦労様でした。



表彰式出昨年優勝の山本智紀さんから優勝カップの返還です。



ベストグロ賞の斉藤 共汎さんへ幹事から賞品です。



優勝の小坂 千宙さんへ優勝カップの授与

ではまた来年！元気でプレーしましょう。

(鈴木成二記録)

インターネットで「東芝テックOB会のホームページ」を見ましょう。

最近のインターネットの普及はますます広くなりつつあります。

私たちのホームページも 2003 年の 11 月に立上げ、途中いろいろな改善をしつつ、もうすぐ 10 年を迎えようとしています。

そこで、まだインターネットを敬遠している OB 会員の人たちにも親しんでいただこうと思い入門編をこれから紹介したいと思います。

はじめにパソコンを用意してください。

今までインターネットに触れなかったり、自分でメールを操作したことがなくても、お子さんやお孫さん、お友達にお願いしてパソコンを見せてもらってください。

新しい広い世界に入れますよ。

インターネットを開いてもらってください。

パソコンの電源を入れてください。パソコンにマイクロソフトの WINDOWS を例にとり説明しますと、しばらくすると窓の絵が出てきて、最初のページが表示されます。

さあ、パソコンによって好きな写真や絵を貼り付けた 1 ページが出てきました。

左下の「スタート」と書いてあるボタンをクリックしてみてください。出てきた表示の中に「インターネット」(Internet Explorer) という文字が出ると思います。

ここをマウスの左ボタンをクリックするとインターネットの画面が出てきます。

「東芝テックOB会」のホームページを探しましょう。

東芝テックOB会のホームページの探し方は、主に二つあります。

はじめは、「東芝テックOB会」のアドレス(住所)を直接入力して探す方法です。

アドレスは下記です。

<http://toshibatec-ob.jp/>

自分で出来なかったら、ぜひ助けてもらって入力してみてください。

もうひとつは「検索ソフト」を使って探してみます。検索ソフトは「GOOGLE」や「YAHOO」等いろいろありますが、この検索ソフトの窓枠に「東芝テックOB会」と文字を入れてみてください。

いろいろな関連するホームページが列挙されて表示されますが、そこから「東芝テックOB会」と思われるアドレスをクリックすると、下のような絵が出てきます。



さあ、ホームページの表紙にたどり着きました。

皆さんの同僚であった人たちや、先輩、後輩もいろいろな場面で登場してくると思います。ぜひ楽しんで下さい。

次回には、「東芝テックOB会ホームページ」の楽しみ方を順次ご紹介します。一人でも多くの会員の方々にホームページを見ていただければ嬉しいです。

事務局より

《事務局連絡先の変更について》

本年9月に本社事務所を移転いたしました。本移転に伴い事務局連絡先は、下記のとおりとなりましたのでご連絡いたします。

住所：〒141-8562 東京都品川区大崎1-11-1

電話番号：03-6830-9129

FAX 番号：03-6684-4001

《OB会会則一部改正について》

第18回東芝テックOB会総会において会則第7条（会費）に、『但し、特段の理由がなく会費を4年以上未納の場合は、退会扱いとする』旨の追加変更が承認されました。

4年以上未納者の会員につきましては、会費振込のお願い文書を同封させていただきました。該当者につきましては、恐れ入りますが、平成25年3月31日までにお振込みいただきたくお願いいたします。